

# 地域共生社会実現に向けての 老年学の貢献

「超」少子高齢化社会の到来を受けて、子ども・高齢者・障害者などすべての人々が、地域、暮らし、生きがいを共に創り高め合うことができる「地域共生社会」の必要性が提言されています。さらにその実現のためには、制度・分野ごとの縦割りや「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることが求められています。

本シンポジウムでは、地域共生社会の実現に向けて解決・達成すべき課題に対して、老年学はどのような貢献が可能なのかを探るとともに、福祉および就労支援分野からの実践報告を題材に、今後必要な研究的および実践的な方略について考えていきます。

## 4月12日(日) 15:30~17:30

参加  
無料

会場：桜美林大学 千駄ヶ谷キャンパス1階ホール

(渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 千駄ヶ谷駅または北参道駅から徒歩6分)

**基調講演** 15:30~15:50

「地域共生社会実現に貢献できる老年学の可能性」

中谷 陽明 先生 (桜美林大学大学院老年学研究科)



**実践報告**

① 15:50~16:10

「特別養護老人ホームが展開する地域住民との交流」

中村 正人 先生 (特別養護老人ホーム神明園)



② 16:10~16:30

「社会福祉法人における地域住民の協働

～地域とともに歩む福祉施設をめざして～

池田 めぐみ 先生 (東京栄和会なぎさ和楽苑)



③ 16:30~16:50

「福祉分野に地域高齢者の就労支援を行う

『ジョブカフェ』の試み ～社会参加の1つの形として～

松永 博子 先生 (自殺総合対策推進センター)



**討論・まとめ** 16:50~17:30

申込

【申込フォーム】 <https://www.gerontologyobirin.com/form20200412/>

【問い合わせ先】

シンポジウム事務局： [obirin@gerontologyobirin.com](mailto:obirin@gerontologyobirin.com)

